BOSE®

OWNER'S MANUAL

パワーアンプ内蔵スピーカー
MM-1 B/W

この度はボーズパワーアンプ内蔵スピーカー「MM-1」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管しておくことをおすすめします。

目　次

安全のために

安全上の留意項目……2
特　長……5
本体のお手入れについて……5
開梱時のご注意（付属品について）……5

名　　称

各部の名称および機能　前面パネル……6
各部の名称および機能　背面パネル……7
信号入力端子接続時のご注意……7

準　　備

外部機器との接続のしかた……8

共　通　操　作

電源ON/OFFと音量調節のしかた……9
A/B系統の音声ミックスのしかた……10

そ　の　他

故障かな?と思ったら……10
故障の場合のお問い合わせ先……11
仕　様……11
保　証……11

MM-1
取　扱　説　明　書

MM-1 B

MM-1 W

※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろ いろな絵表示をしてい ます。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は行為を促す内容を告げるものです。
（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警告

電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●乾電池は、充電しないでください。電池の破損、液もれにより、火災・感電の原因となります。
	ボタン電池を使用する機器のみ ●この機器に使用しているボタン電池を取り外した場合は、小さなお子様がボタン電池をあやまって飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへおいてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医者と相談してください。
使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
	充電する機器のみ ●充電するときは、付属のACアダプターをお使いください。指定以外の充電器を使用すると電池の破裂、波もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪 中、海岸、水辺での使用 は特にご注意ください。
	●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠警告

通風孔のある機器のみ

●この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。
この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。
テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。
コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

●この機器の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ 化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

分解禁止

●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

ACアウトレット（電源コンセント）付き機器のみ

●この機器のACアウトレットが供給できる電力は背面パネルに表示されております。接続する装置の消費電力の合計が表示されているW（容量）を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。

⚠注意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

電池を使用する機器のみ

●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス+と-の向きに注意し、表示通りにいれてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●お手入れ際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

●アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

※送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

●お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

⚠ 警告		●スピーカーコードの上に重いものをのせたり、コードが製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。
		●スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
		●スピーカーコードを熱器具の近くや直射日光のあたるところには近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災の原因となります。
		●スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
		●<本製品>を分解したり改造ないでください。破損や火災の原因となります。
		●熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。

⚠ 注意		●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。
		●スピーカーを高いところに設置される場合には、作業が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。
		●定格を超える入力を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
		●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。

音のエチケット

●音量は時や場所に応じて適度な大きさに調整してください。特に、静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。

あなたが放送やCD、テープ、又はビデオディスクや市販のソフトから録音や録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

⚠ 注意

このスピーカーは、キャンセリング・マグネット方式による低磁束漏洩になっています。通常のスピーカーは、テレビやモニターなどに近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合がありますが、このスピーカーシステムはテレビやモニターなどへの近接設置の可能なスピーカーです。ただし、テレビやモニターなどへの設置のしかたによっては、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーをさらにテレビから離してご使用ください。

特　長

小音量時でもバランスのとれた音を生みだす、“ PsychoAcoustically Processed ” 回路

人間の耳は音量が小さくなるにしたがって、周波数によって聞こえにくくなる帯域があります。このため、大きな音では自然に聞こえる再生音も、小音量になると周波数による音のバランスが　崩れ、もの足りない音になってしまいます。そんな人間の聴覚を研究し、どんな再生レベルでも　聴感上もっとも自然な周波数バランスに聞こえるよう、常に自動的にコントロールします。

低磁束漏洩（キャンセリング・マグネット方式）

スピーカーはキャンセリング・マグネット方式の低磁束漏洩タイプです。コンピュータ・モニターやテレビなどのブラウン管に近接させても色ムラなどが起きにくくなっています。

スペイシャス・エンハンサー回路内蔵

スペイシャス・エンハンサー回路により、本機に入力される信号がモノラル音源であっても奥行きや広がりのある音場空間を再生します。

2系統の入力端子を装備

2系統の入力端子を備えていますので、片方の入力をコンピューターの音声出力端子に接続し、もう片方を他のオーディオ機器に接属するなどの使い方ができます。

ソースミキサー内蔵

2系統のソースを自由にミックスすることができます。コンピューターで作業をしながらBGMとして他のオーディオ機器からの音声を楽しむことができます。

本体のお手入れについて

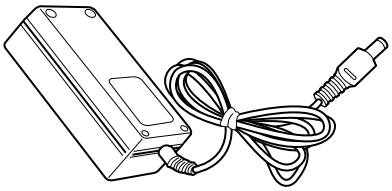
通常は、やわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときには、中性洗剤を水で薄めた液にやわらかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

開梱時のご注意

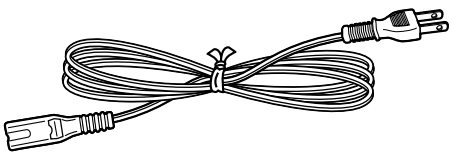
カートンケースとパッキング類は、輸送用として後日使用する場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。

付属品を確認してください

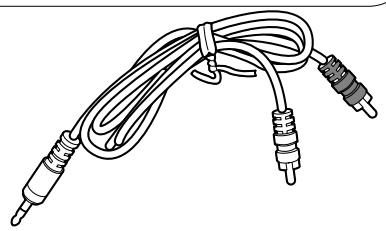
もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買上になった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。



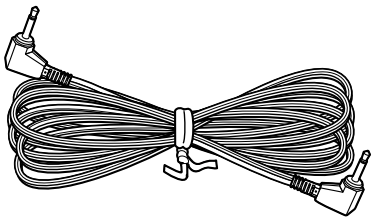
ACアダプター　×1個



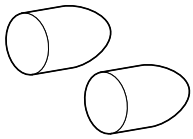
ACコード　1.8m×1本



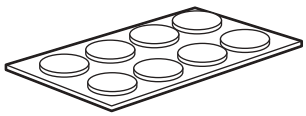
ステレオミニプラグ付オーディオ入力ケーブル　1.5m×1本



スピーカーケーブル　3m×1本



保護キャップ　×2個



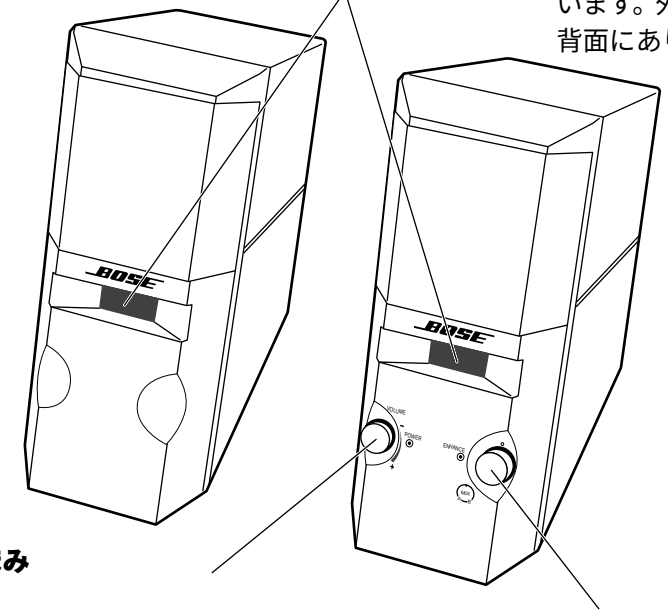
すべり止めゴム足

各部の名称および機能　前面パネル

ポート
ここの部分から低域の音がでます。ふさがないようにしてください。

アクセサリースピーカー
左チャンネル側のスピーカーです。

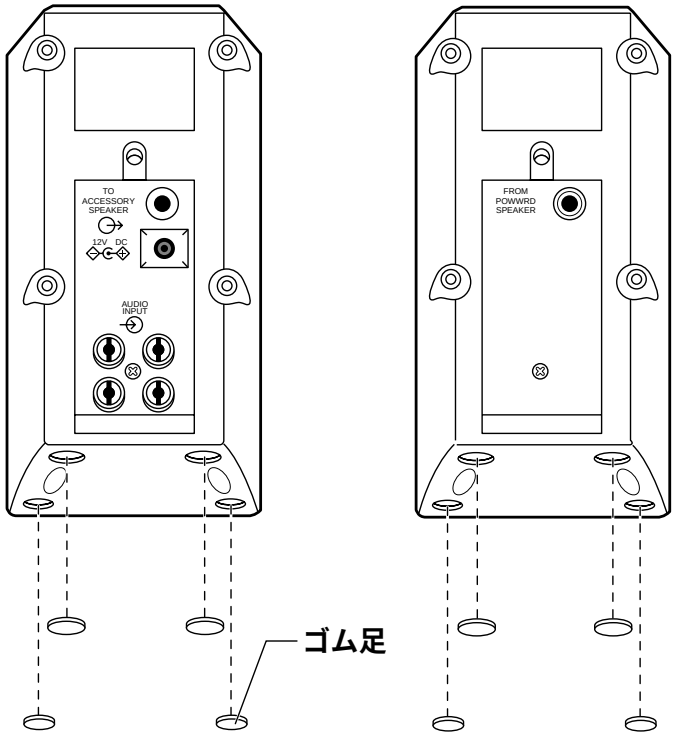
アンプ内蔵本体部
両側のスピーカー用のアンプを内蔵しています。外部入力端子は、このスピーカー背面にあります。



電源スイッチ、音量調節つまみ（ボリューム）
このつまみを押すことで、電源のON/OFFができます。また、つまみを時計方向に回すと音が大きくなり反時計方向にまわすと音が小さくなります。

エンハンサースイッチ、ソース・ミキサーつまみ
このつまみを押すことで、スペイシャス・エンハンサーのON/OFFができます。また、背面入力端子A、Bから入力される音のバランスを調整します。

MM-1を机の上などに置いてご使用になるときは、付属のゴム足を下図のように貼り付けてご使用ください。



各部の名称および機能　背面パネル

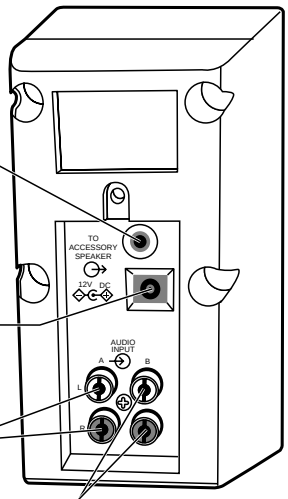
左チャンネル用スピーカー出力端子
この端子とアクセサリースピーカーの入力端子を付属のスピーカーケーブルで接続します。

電源入力端子
ACアダプターからのプラグをここに差し込みます。確実に奥まで差し込んでください。

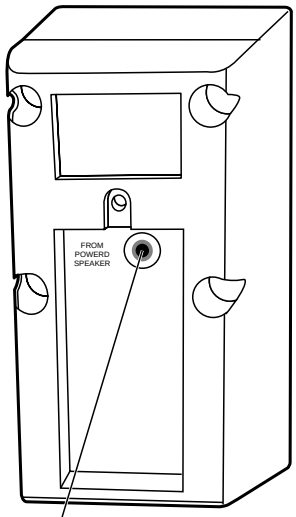
信号入力端子A
RCAピンジャックの入力端子です。

信号入力端子B
RCAピンジャックの入力端子です。

アンプ内蔵本体部背面

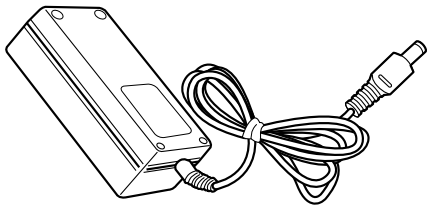


アクセサリースピーカー背面

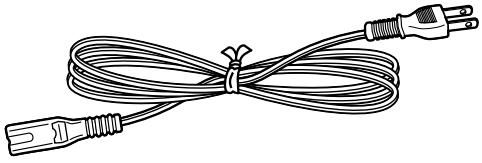


スピーカー入力端子
この端子とアンプ内蔵本体部のスピーカー出力端子を付属のスピーカーケーブルで接続します。

ACアダプター

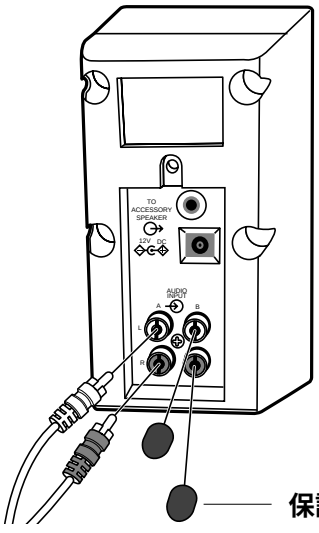


ACコード



信号入力端子接続時のご注意

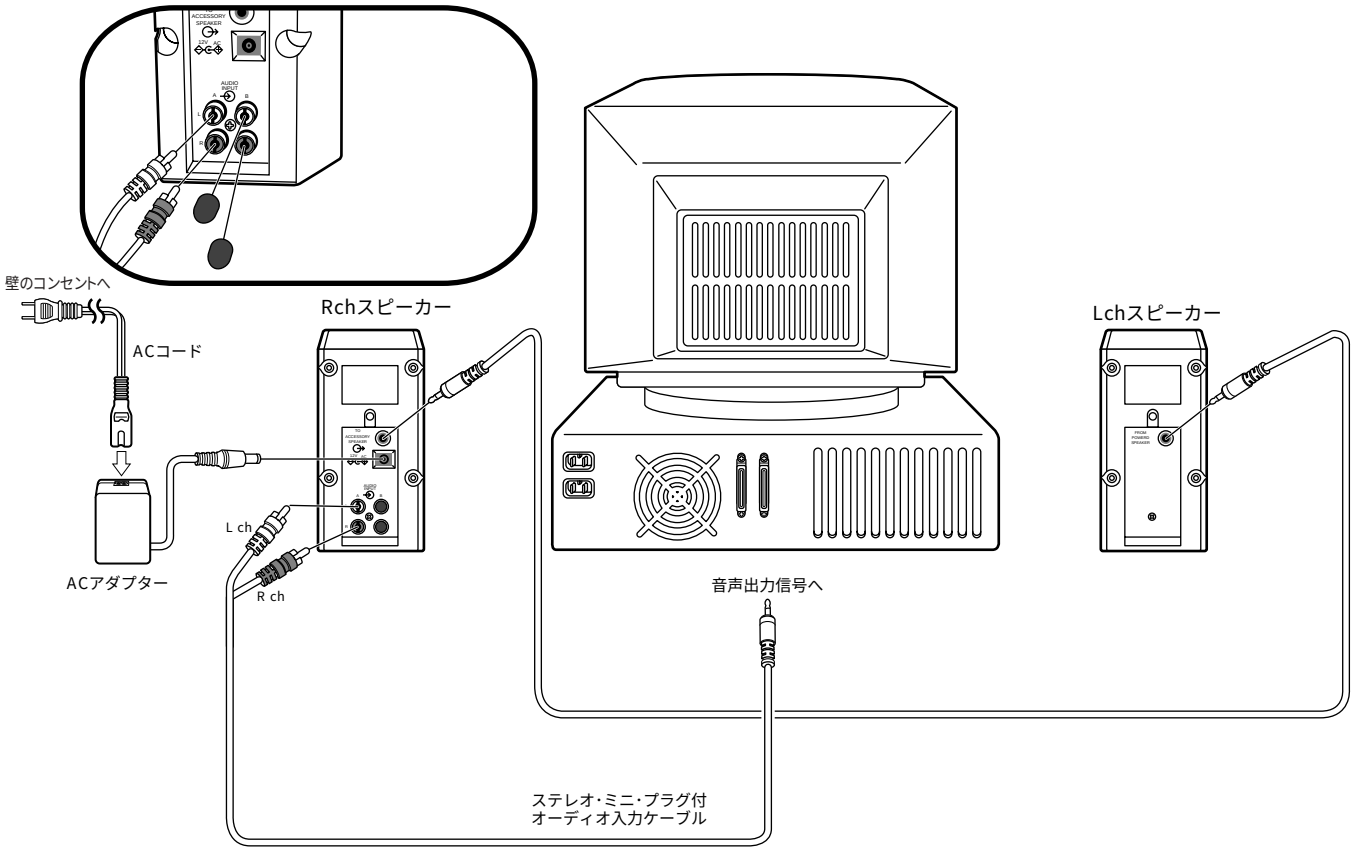
※入力端子が2系統あります。同時に外部の機器を2種類接続することができます。
※A.B両方の入力端子を同時に使用しない場合は、必ず使わない方に付属のキャップをはめてください。
※使用していない入力端子に保護キャップをはめることで、入力端子からの低音エネルギーのもれを防ぎます。



外部機器との接続のしかた

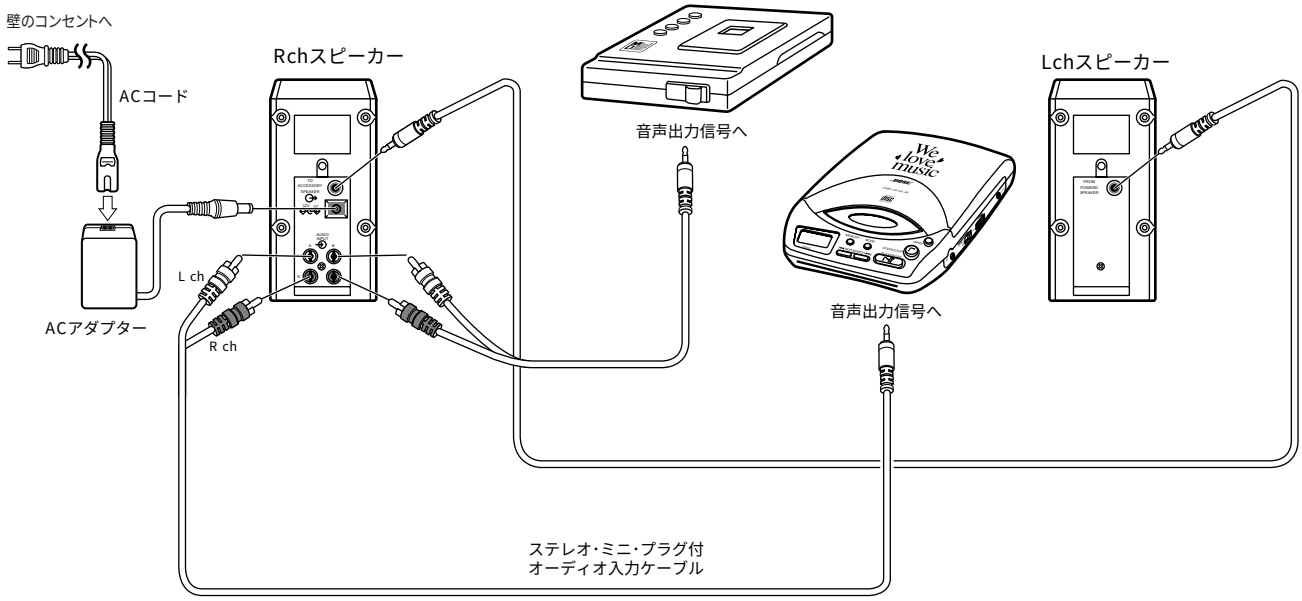
※すべての接続が終わるまでは、ACパワーパックをコンセントに差し込まないようにしてください。
※電源を入れる前は、必ず音量調整つまみは、反時計方向に回して最小の位置にしておいてください。

コンピューターの音声モニターとして接続する場合



オーディオ機器と接続する場合

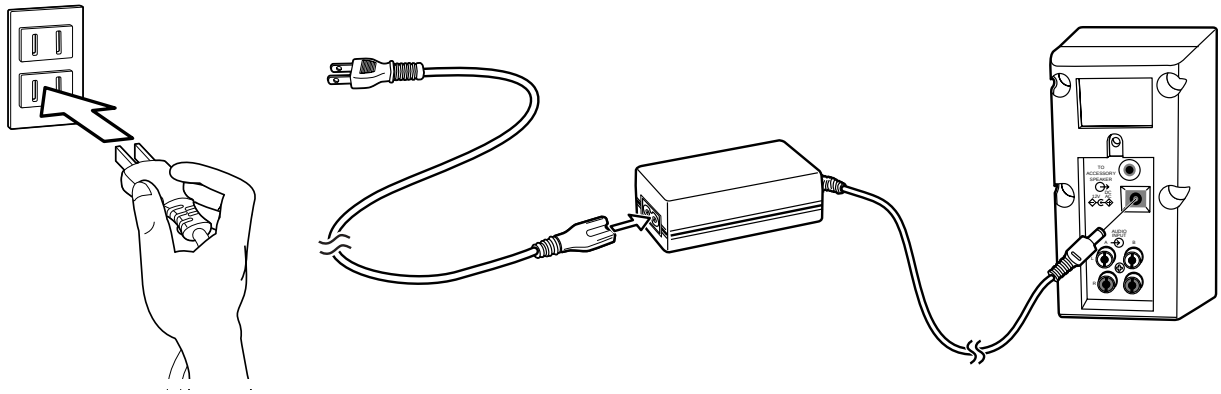
※接続する機器の出力端子の形状に合わせて、市販のケーブルを別途お求めください。
※A,B両方の入力端子を同時にご使用になる場合は、市販のケーブルを別途お求めください。



電源ON/OFFと音量調整のしかた

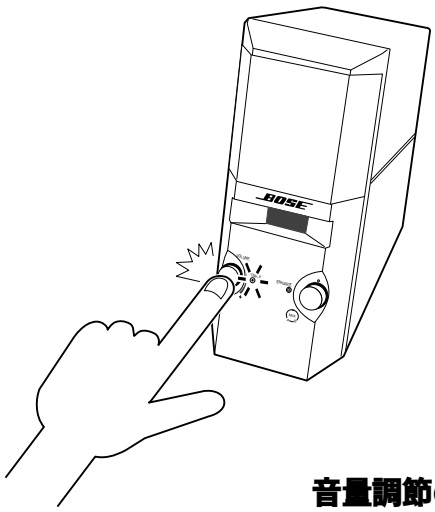
※すべての接続が終わるまでは、ACコードをコンセントに差し込まないようにしてください。
※各機器の接続にまちがいがないかもう一度確認してください。
※電源を入れる前は、必ず音量調整つまみは、反時計方向に回して最小の位置にしておいてください。

ACアダプターに接続したACコードをコンセントに差し込んでください。



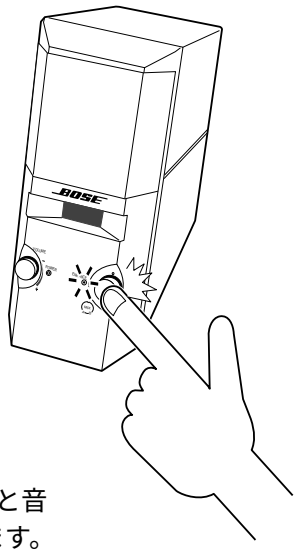
電源のON/OFFのしかた

音量調整つまみを押すと電源が入りインジケーターが点灯します。



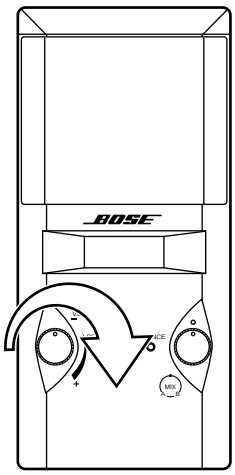
エンハンサーON/OFFのしかた

ソース・ミキサーつまみを押すとスペーシャス・エンハンサーが入りインジケーターが点灯します。



音量調節のしかた

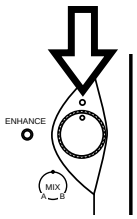
VOLUME（ボリューム）つまみを、時計方向に回すと音が大きくなます。反時計に回すと音が小さくなります。

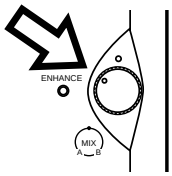


A/B系統の音声ミックスのしかた

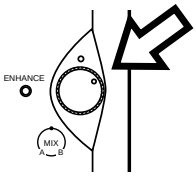
ソース・ミキサーつまみでA系統とB系統の音声をミックスします。

つまみの位置と音声ミックスのようす



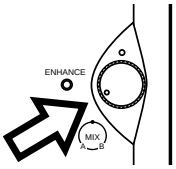


A系統の音声とB系統の音声がほぼ同等に出力されます。
（ただし、A、B共に同レベルの入力があった場合）

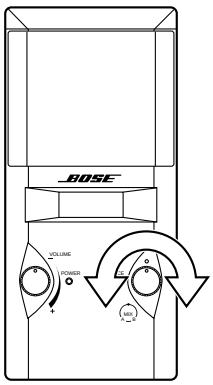


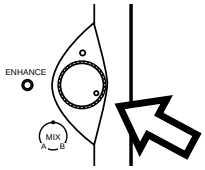
A系統の音声にB系統の音声が加わります。

B系統の音声にA系統の音声が加わります。



A系統の音声のみになります。





B系統の音声のみになります。

故障かな?と思ったら

症　　状	原　　因	処　　置
音が出ない	接　　続	接続がすべて適切におこなわれていることを確認してください。（P 8）スピーカー・ケーブルがしっかりとアクセサリー・スピーカーとアンプ内蔵スピーカーにつながれていることを確認して下さい。
	電　　源	ACアダプターがアンプ内蔵スピーカーと壁コンセントにしっかりとつながれていることを確認して下さい。
	信　号　源	音源からのオーディオケーブルがしっかり接続されていることと、電源が入っていること、ソース・ミキサーつまみの位置が中央か音源の接続されている方になっていることを確認してください。
	音　　量	音量の設定が低すぎないことを確認してください。
片方のスピーカーしか鳴らない	モノラル音源	スピーカー・ケーブルの正しい接続の仕方はP8のイラストをご覧下さい。プラグが完全に差し込まれていることを確認してください。音源をチェックし、もしモノラルの音源ならば、音が両方のスピーカーからでるようにモノ→ステレオ変換アダプターを別途購入してご使用ください。
音が歪んでいる	ボ リ ュ ー ム	音源の出力レベルを下げ、スピーカーのボリュームを上げてください。

故障の場合のお問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせは、ボーズサービスセンター事業部までご連絡ください。

☎ 045-979-0821

仕　様

定格出力	**6Wx2**	
入力感度	**250mV～2V**	
入力インピーダンス	**15kΩ**	
最大消費電力	**24W以下**	
使用ユニット	**5.7cmフルレンジドライバー**	
低漏洩磁束方式	**キャンセリング　マグネット方式**	
電源電圧	**AC 85V～240V 50/60Hz（専用ACアダプター使用）**	
	アダプター出力電圧DC 12V	
対応電圧	**100～240V AC（50Hz/60Hz）**	
入力端子	**・INPUT A**	**RCAピンジャック**
	・INPUT B	**RCAピンジャック**
外形寸法	**84(W) x 182(H) x 202(D) mm**	
質量	**L-ch**	**800g**
	R-ch	**960g**

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

BOSE®
Better sound through research®
http://www.bose.co.jp/
ボーズ株式会社
〒150-0044　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷ＹＴビル　ＴＥＬ03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。